



株主のみなさまへ 第13期中間報告書

平成26年4月1日▶平成26年9月30日

富士石油株式会社 証券コード:5017

株主のみなさまへ



代表取締役会長 関屋 文雄

代表取締役社長 柴生田 敦夫

ごあいさつ

株主のみなさまには平素より格別の御 支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第13期中間報告書(平成26年4月1日 ~平成26年9月30日)をお届けするにあ たり、一言ごあいさつを申し上げます。

私どもを取り巻く事業環境につきましては、省エネ及び燃料転換の進展などにより、今後とも国内 石油需要の減少が見込まれており、また、今期は為替相場や原油価格の乱高下が決算に影響を 与えるなど、極めて厳しい状況にあります。

このような事業環境の中、袖ケ浦製油所においてはより一層の安全・安定操業に努めるととも に、同製油所の立地上の優位性、安定した顧客基盤、高度化した生産設備などその強みを最大 限に活かし、収益基盤の更なる強化を図ってまいります。

当社グループは、本年6月に始動した新たな経営トップ体制の下、一丸となって種々の経営課題に 取り組み、企業価値の向上を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社グループ事業への御理解と、今後の事業発展 に向けた長期的な御支援、御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成26年12月



一/// 代表取締役会長 関屋 文雄 代表取締役社長 柴牛田 敦夫

日 次

株主のみなさまへ …	1
営業の概況	3
連結財務諸表	5
連結決算ハイライト	7
企業理念	9
TOPICS	10
グループ概要	11
会社概要	13
株式の状況	14
株主メモ 裏表	長紙

■ 連結業績 ■

売上高

3,628億15百万円

(前年同期比12.8%增)

売上高は、4年に1度の大規模定期修理を実施した前年同期に比べて販売 数量が増加したことなどにより、前年同期比12.8%増収となる3,628億15 百万円となりました。

営業損失

11億24_{百万円}

(前年同期 営業損失52億2百万円)

営業損益は、上記定期修理見合いの修繕費の減少や製品マージンの改善などによるプラス要因があったものの、原油価格下落に伴う在庫評価損益の悪化などにより、前年同期比40億78百万円の改善に留まる、11億24百万円の損失となりました。

経常損失

4億58百万円

(前年同期 経常損失65億97百万円)

経常損益は、上記営業損益の改善に加え、円安に伴う為替差益の計上など により、前年同期比61億38百万円の改善となる、4億58百万円の損失となりました。

四半期純損失

8億19百万円

(前年同期 四半期純損失67億11百万円)

四半期純損益は、法人税などを控除した結果、前年同期比58億92百万円 の改善となる、8億19百万円の損失となりました。

■生産·販売状況

袖ケ浦製油所における原油処理量は、常圧蒸留装置の高稼働を維持したことにより、4年に1度の大規模定期修理を 実施した前年同期に比べて1,006千キロリットル増の4,073千キロリットルとなり、また石油製品及び石油化学製品 等の販売数量は、753千キロリットル増の4,123千キロリットルとなりました。

安全操業への取り組み

袖ケ浦製油所では、無事故・無災害を目標に、現場パトロールや社員・協力会社員への安全教育、事務部門を含めた社員全員による装置の安全点検など様々な取り組みを日々実施しています。

また、こうした安全操業への取り組みは、 常圧蒸留装置をはじめとした各種装置 の高稼働維持にもつながっています。





■ 四半期連結貸借対照表

(百万円)

科目	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	244,739	252,714
固定資産	123,441	127,527
資産合計	368,181	380,242
負債の部		
流動負債	239,125	246,399
固定負債	55,882	58,496
負債合計	295,008	304,895
純資産の部		
株主資本	75,211	77,074
その他の包括利益累計額	△2,309	△1,961
少数株主持分	272	234
純資産合計	73,173	75,347
負債純資産合計	368,181	380,242

■ 四半期連結損益計算書

百万田

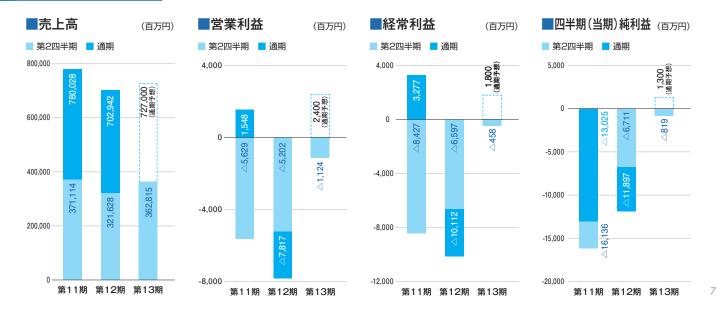
■ 四十别连和伊金司务	(白万円)	
科目	当第2四半期 (平成26年4月 1日 (~平成26年9月30日)	前第2四半期 (平成25年4月 1日) (~平成25年9月30日)
売上高	362,815	321,628
売上原価	362,105	324,858
売上総利益又は総損失(△)	709	△3,229
販売費及び一般管理費	1,834	1,973
営業損失(△)	△1,124	△5,202
営業外収益	2,680	834
営業外費用	2,014	2,229
経常損失(△)	△458	△6,597
特別利益	_	200
特別損失	62	429
税金等調整前四半期純損失(△)	△521	△6,826
法人税、住民税及び事業税	4	7
法人税等調整額	254	△137
少数株主利益	40	15
四半期純損失(△)	△819	△6,711

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

科目	当第2四半期 平成26年4月 1日 ~平成26年9月30日	前第2四半期 (平成25年4月 1日) (~平成25年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	34,035	△21,952
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,633	171
財務活動による キャッシュ・フロー	△31,312	20,808
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△58	295
現金及び現金同等物の 増減額	1,030	△677
現金及び現金同等物の 期首残高	12,701	13,264
現金及び現金同等物の 四半期末残高	13,732	12,587



連結決算ハイライト



通期連結業績見通し

第13期見诵しのポイント

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想を作成しました。

見通しの 前提 原油価格(ドバイ原油): 下期95ドル

為替レート : 下期110円

業績

売上高は、上期における販売数量の増加などにより7,270億円となる 見通しです。

また、損益につきましては、上期に改善傾向にあった製品マージンが下期においても堅調に推移するものと見込み、営業利益は24億円、経常利益は18億円、当期純利益は13億円となる見通しです。

■通期予想

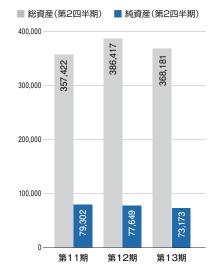
売上高 7,270億円

経常利益 18億円

当期純利益 13億円

■総資産/純資産

(百万円)



■ 企業理念 ■

エネルギーの 安定供給

安全の確保と地球環境の保全

ステークホルダーとの 共存共栄 活力に満ちた 働きがいのある職場

■ グループ経営方針 ■

「企業理念」の下、以下の方針にて事業活動を遂行してまいります。

ステークホルダー 価値の最大化

グループ企業が一体となって、ステークホルダー(株主、顧客、従業員、地域社会)にとっての企業価値の最大化を図る

経営の 透明性の向上

コーポレートガバナンスを 強化するとともに、リスクマ ネジメントおよびコンプライ アンスの徹底、正確かつ適 時適切な情報開示に努める

安定的な経営・収益基盤の維持

袖ケ浦製油所の持つ立地 優位性・高度な設備能力 と、強固な顧客基盤を背景 とする安定的な収益構造を 盤石なものとし維持する

株主への 利益還元

中・長期的な事業発展のための内部留保の充実に留意しつつ、業績および資金バランス等を勘案の上、安定的な配当の継続に努める

持続的な 成長への挑戦

事業環境の変化を先取りした中期的経営戦略を立案 し、これを着実に遂行する ことで、グループの持続可能な成長を実現する

TOPICS

太陽光発電の開始

本年6月末より、子会社の富士臨海(株)は、

当社の中袖原油備蓄基地内の遊休地を利用した

太陽光発電事業を開始しました。

本事業では、発電能力約1メガワットの太陽光パネル (ソーラーフロンティア(株) 製)により発電した電力を、

東京電力㈱に販売しております。





■子会社/関連会社

会社名		所在地	資本金	出資比率(%)	主要な事業内容
アラビア石油株式会社	%1	東京	100百万円	100.0	石油開発プロジェクトの資産管理
株式会社ペトロプログレス	%1	東京	3,000百万円	100.0	原油・石油製品の調達、販売
Petro Progress Pte Ltd.	%1	シンガポール	34百万シンガポールドル +733千米ドル	(100.0)	海外における原油・石油製品の調達、販売
日本オイルエンジニアリング株式会社	%1	東京	600百万円	(90.0)	石油・天然ガス部門でのエンジニアリング・ コンサルティング
富士タンカー株式会社	%1	東京	50百万円	100.0	原油タンカーの傭配船
富士石油販売株式会社	%1	東京	100百万円	100.0	石油製品の販売、納入代行、 保険代理店業務
富士臨海株式会社	%1	千葉	10百万円	85.0	海上防災、原油·石油製品の入出荷、 産業廃棄物収集運搬
東京石油興業株式会社	% 1	東京	120百万円	(99.7)	道路舗装用アスファルト合材の製造・販売、 産業廃棄物処理
輸石アイン株式会社	%1	東京	200百万円	(99.5)	鉱物資源開発用資機材の輸出
Aramo Shipping(Singapore) Pte Ltd	. %2	シンガポール	20,742千米ドル	(50.0)	原油タンカーの保有·運航
東海工機株式会社	%2	千葉	40百万円	40.0	各種プラントの建設・保全
※1 連結子会社 ※2 持分法適用関連	会社				(注)()は当社の間接出資比率です。

会社概要(平成26年9月30日現在)

会 社 名 富士石油株式会社 (英文 Fuji Oil Company, Ltd.)

設 立 平成15年1月31日

資 本 金 24,467百万円

従業員数単独427名連結654名

本 社 東京都品川区東品川二丁目5番8号

取 締 役

代表取締役会長 関屋 文 雄 代表取締役社長 柴牛田 敦 夫 専務取締役 渡 辺 光 司 常務取締役 猪 股 淳 常務取締役 加 納 望 取締役(社外) 香 藤繁 常

取締役(社外) 石 飛 修

取締役(社外) 清水正孝

取締役(社外) イマッド・アブドルカリーム

取締役(社外) ムハンマド・ファハド

取締役小竹潤

取 締 役 山 本 重 人

監 査 役

常勤監査役 荒 井 男 降 彦 監査役(社外) 石 # 信 監查役(社外) 脇 康 Ш 監査役(社外) 渡 滋 辺

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人

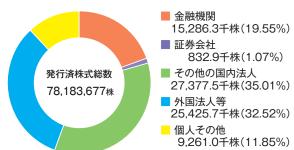
13

株式の状況(平成26年9月30日現在)

■株式の状況

発行	可能株式	総数	200,000,000株
発 行	済 株 式	総 数	78,183,677株
株	主	数	11,796名

■所有者別株式分布状況



■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京電力株式会社	6,839.9	8.74
クウェート石油公社	5,811.3	7.43
サウジアラビア王国政府	5,811.3	7.43
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー ブライスド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サブポートフォリオ)	5,358.7	6.85
昭和シェル石油株式会社	5,144.0	6.57
住友化学株式会社	5,051.6	6.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,300.7	5.50
日本郵船株式会社	2,750.8	3.51
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドンエス エル オムニバス アカウント	2,077.9	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,014.5	2.57

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

期末配当金 受領株主確定日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

特別口座 口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先及び 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話照会先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル: 0120-288-324

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由に 公告方法 よって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載

して行います。http://www.foc.co.jp/ir/koukoku.html

2 110 2 72 24

富士石油株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル TEL 03-5462-7761 FAX 03-5462-7815 ホームページアドレス http://www.foc.co.jp/

特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

証券会社等の口座にて管理されていない株式は、当社がみずほ信託銀行株式会社に開設した口座(特別口座)に記録されております。

特別口座に記録されている株式の売買等 を行うためには、一旦株主様ご本人名義の証 券会社口座*に振替手続きを行っていただく 必要があります。

なお、振替のお手続きには、みずほ信託銀行株式会社宛に「口座振替申請書」のご提出が必要となります。詳しい情報は、みずほ信託銀行株式会社のホームページをご覧いただくか、またはフリーダイヤル(0120-288-324)にお問い合わせください。

※ 口座をお持ちでない株主様はあらかじめ証券会 社で口座開設のお手続きを行ってください。



